

【テキスト】Tendentious Apperception 偏向した統覚 (後半)p138~139

★前回の復習、Tendentious Apperception の意味について➡資料①

For another example, think of a group of people of different occupations, perhaps a hairdresser, a tailor, a physician, a lawyer and a factory owner, studying the same individual. The hairdresser thinks about the hair, the tailor sees if a nice suit could be put on this person.

別の例として、異なる職業の人々、美容師、仕立て屋、医師、弁護士、工場経営者などが、ある個人を研究しているとしよう。美容師は髪のことを考え、仕立て屋はこの人に素敵なスーツが着せられるかどうかを見るだろう。

The physician thinks about the liver, the lawyer, whether the person could be a client, and the factory owner might think about how the person be marketed. Tendentious apperception means looking only from a specific angle and changing reality to be fit one's own ideas.

医師は肝臓のことを考え、弁護士はその人がクライアントになりうるかどうかを考え、工場のオーナーはその人をどう売り込むかを考えるかもしれない。偏向した統覚とは、特定の角度からしか見ず、自分の考えに合うように現実を変えることである。

★the factory owner might think about how the person be marketed.

は、その人自身を売り込むという意味なのか、その人に商品を売り込むという意味なのか…？

★ここで書かれていることは実感としてよくわかる。たとえば「看護師は人の血管を見てしまいがち」で、私自身も思い当たる。たぶん、世の中のほとんどの人たちは、他人の腕の血管に興味がないと思うが、看護師(採血を仕事にする人)は、他人の血管を見ってしまうことはよくあることだと思う。ちなみに、私は現在保健師の仕事をしているが、人の体形や、食事の場面でその人が食べているものが気になってしまう…！

➡資料② アドラーがどう言っていたか

If people have a pattern, for example, based on the impression that they may be left out, it is as if they carried a sign that says, "Beware not to be left out again," or, "Beware someone might get ahead of me," this would mean insecurity. The drivers who have to reach the stop sign first have to stop longer, but being first has meaning.

人がもっているあるパターン、例えば、自分が取り残されるかもしれないという印象に基づくパターンがあるとすれば、あたかも彼らは「また取り残されないように気をつけよう」とか「誰かが私より先を行くかもしれないので気をつけよう」、という看板を背負っているようなもので、それは不安を意味する。

一時停止標識に1番に到着しなければならないドライバーは、より長く停車しなければならないが、1番であることには意味がある。

★英語圏のたとえ話は、意味のとらえ方に戸惑うことがあるのですが…。

突然「ドライバー」がでてくるように感じるのですが、これは、前半の「取り残される」という話題の時点で、そもそも車の運転をイメージしているのとらえるべきなのでしょうか???

そうすると「sign」を「看板」と訳すのがよいのか…?

Some will get mad if others pass them; having to be first is a pattern. They will go through life, looking to see if they are first.

They will use means to justify the reasons they were not first, when they are involved in situations where they could not be first.

他の人が追いこしたら腹を立てる人もいる。自分が1番でなければならないというのはパターンである。彼らは、自分が1番であるかどうかを注視しながら、人生を生きていく。

自分が1番になれない状況に巻き込まれると、自分が一番になれなかった理由を正当化する手段を使う。

On the other hand, there are others who expect themselves to be last, such as children who always stray behind on the trail. This is not because they could not walk faster, nor because they would not like to be with the others. 一方で、自分が最後であることを期待する人もいる、例えば、トレイル(山道・歩道)でいつも遅れてしまう子供たちだ。これは、早く歩けないからでも、みんなと一緒にいたくないからでもない。

Perhaps it is to make sure that someone will turn around and look out for them, an attention getting device.

Children might grow up with the idea that no one cares about them. Therefore, they will use means or develop mechanisms which will prove to them that they are right.⁵

おそらくそれは、誰かが振り向いてくれることを確認するためであり、注目を集めるための仕掛けなのだ。

子どもは、誰も自分のことなど気にかけてくれないという考えの中で成長するかもしれない。そのため、自分が正しいことを証明する手段を使ったり、メカニズムを開発したりするのだ。

★「pattern」について➡資料③

- ・横山さんの復習資料のつづき
- ・脚注について
- ・IPAA189. CONSTANCY

★外的に(外から)見える手段の話と、内的な目的(目標)の話がでてきている。

➡資料④『アドラー心理学を語る 1 性格は変えられる』p16、p54

Once people have established their pattern, they live completely correctly according to their pattern.
It makes little sense to tell them,
"You could do otherwise . . ." (which is true), "if only you wanted to."
But they cannot do otherwise even if they wanted to unless they change their ideas.

一度自分のパターンを確立すると、彼らはそのパターンに従って完全に正しく生きる。
彼らに、「他のやり方もできます...」(それは真実)、「あなたがそうしたいのであれば」、と言うのはほとんど意味がありません。
だって、たとえ彼らが望んだとしても、彼らが考えを変えない限り、ほかのやり方はできないのだ。

But as long as people maintain their ideas, for example, that they must be first, or that they must never be betrayed, or that they must be alone to be great, then they cannot do otherwise.

例えば、自分が1番でなければならないとか、絶対に裏切られてはならないとか、偉大であるためには孤独でなければならないとか、そういう考えをその人が持ち続ける限り、ほかのやり方はできないのだ。

★目標(目的)は、be 動詞、行動は do というのは、英語では当たり前のことなのかもしれないが、日本語で考えるときもこれを意識しておきたいと思った。

★「変わりたいんですが、変わらないんです」という行動の目的 → 資料⑤『アドラー心理学を語る 1 性格は変えられる』p17～、p24～

5: Please note that Slicher points to the fact that a pattern is an internal event (as are mechanisms), with means that are used to *enact* the pattern in the external world. See "Style of life" for a further discussion of means or tools external events. 以下のことに留意しておいてください。ジツヒャーは、パターンとは(メカニズムと同様に)内的な出来事であり、そのパターンを外的な世界で実現するために使われる手段であるという事実を指摘している。手段や道具の外的事象についてのさらなる議論は、「Style of life」を参照してください。